

問 住民自治のさらなる向上は

答 広く地域への関心を抱いてもらう



公明党 植木 伸寿 議員

議員 住民自治に向けた人材の掘り起こしや育成等について考えを伺う。

村長 地区のキーパーソンとなる人材の掘り起こしに向け、地域に関心を抱いてもらう人を広げるため、村としても関わり、取り組んでいきたいと考える。

議員 先日、農業フォーラムが開催され、まちづくりに向けた先進地の具体的事例が示されていた。より具体的に自治の向上をどう考えていくのか伺う。

村長 地域で抱えている多岐にわたる問題は、やはり地域間ではないと解決しないと考える。さらに、地域のモチベーションを上げていかなくはならないところもある。東海村にあった地域づくりをしていきたい。

議員 より良い自治活

動を推進するための道具として、「東海村自治基本条例」や「協働の指針」など原点を常に確認することも大切と考える。現場でより一層活用が図られるよう提案としたい。



未来を担う学生たち

問 村民が豊かで苦勞していないとは

答 所得は高位、ボランティアも熱心



無党派 大名 美恵子 議員

議員 2月8日の議員研修会時の挨拶中、「村民は比較的豊かで苦勞していない。困っていないため村一体での街づくりが足りなかった。それで私は地域経済の活性化として商工会や観光協会との連携を強めてきた」と述べられた事は、村民生活支援は必要ないが業者支援は必要と聞けた。中小業者支援は重要な行政課題だが、原発を動かすことに頼る経済施策では福島原発事故に学んだとは言えない。真意は何か。

村長 村民の所得水準が比較的高位に示された資料を見た。また、ボランティア活動に熱心なのは生活が安定し

ているから。しかし困っている人もいるので、一人一人の生活支援にも気を配っていく。最近は子育て支援に力を入れ、認知症の予防事業も行っている。一方で地域経済の活性化も大切。原子力だけに依存しない商工業者支援について追求し、施策を推進してきたいという意味。

議員 住民の声をよく聞き、生活支援も十分行つことが重要。



ボランティア活動の拠点